



無線LAN等の欧米基準試験データの活用の在り方に関する 検討会（第7回）

登録証明機関へのヒアリング回答（UL Japan）

2022年11月9日
株式会社 UL Japan（登録番号：007）

1. 基準認証制度のマニュアルに盛り込むべき項目 (登録証明機関毎に認証結果が異なる事項)

「容易に開けることができない構造」としての特殊ネジ

【要求】

登録証明機関協議会発行のガイドラインではネジ穴にピンが立っているタイプを要求。

【現状】

申込者の回答より、ネジ穴にピンが立っていないタイプでも担保できる認識であることを伺わせるものがあった。

【原因】

ガイドラインの周知が不十分であることも一因と予想される。

2. 欧米基準試験データの活用マニュアルに盛り込むべき項目

- ◆ 米国レポートについて、FCC認可済みであることの確認
- ◆ 欧州レポートについて、NB検証が実施されているか否かの確認
- ◆ 欧州レポートについて、適用できるバージョンの明確化（その時点での整合規格に限る等）
- ◆ NB検証が無い場合、試験の実施がISO 17025認定試験所か否かの確認
- ◆ 申込者の提出した欧米レポートが他社向けのものである場合の対処法（主にモジュールレポートを想定）

3. Q & A 集に盛り込むべき項目

各証明機関から貴省へ個別に行われた質問とその回答

【現状】

個別に行われた質問に関して、その回答を他の証明機関へ展開する機会がない。証明機関の差分を減らすために共有は有効と考えられる。

【FAQ例】

Q：証明規則第2条第1項第19号の3による認証と同第78号による認証を取得する子局について、製品への表示要件としては、「電波法により、一部許可された場合を除いて、屋外利用禁止です。」で問題ないか。

A：定型の表示文言は規定していない。誤解を招かない範囲であれば認められる。

3. Q & A 集に盛り込むべき項目

各証明機関から貴省へ個別に行われた質問とその回答

【米国FCCの例】

製品機密の関係上、個別のFAQ（KDB inquiry）も存在するが、機密に関わらない規則の解釈等に関するものはTCBワークショップの場でいくつかピックアップし、共有されている。

2:45 PM	3:00 PM	BREAK	Element Materials Technic
3:00 PM	4:15 PM	KDB Sharing Session	Greg Czumak - ACB Inc
4:15 PM	5:00 PM	When Public Safety Gets Caught in	Mitchell Lazarus

※2022 October TCB Council WorkshopのAgendaより抜粋

1～3のマニュアル、Q&A集に盛り込むべき追加事項があれば、継続して貴省へ提案できることを要望します。



Thank you

[UL.com/Solutions](https://www.ul.com/Solutions)

© 2022 UL LLC. All rights reserved.